

| | | | | | | |
|---------|---|----------|--------|------|------|----|
| 科目分類 | 看護専門科目（救急・災害看護学） | 開講時期 | 1・2年 | 前期 | | |
| 研究キーワード | 災害サイクルと看護・倫理・被ばくと看護 | | | | | |
| 科目名 | 災害看護学特論 | | | | | |
| 英文 | Advanced Study in Disaster Nursing | | | | | |
| 選択／必修 | 選択 | 単位数（時間数） | 2単位 | 30時間 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員 | 高原 美樹子 ・ 山崎 加代子 | | | | | |
| メールアドレス | m-takahara@tsuruga-nu.ac.jp（高原） yamazaki@fpu.ac.jp（山崎） | オフィスアワー | 講義の終了時 | | | |

| | |
|-------------|--|
| 授業目的 | <p>1. 災害看護活動に関する現状と課題について理解する。</p> <p>2. 災害サイクルや被災者特性に応じた災害看護活動に必要な知識・判断力・技術を探求する。</p> |
| 授業概要 | <p>災害に関する基礎的知識を踏まえ、災害看護の現状と課題について検討する。原子力発電所の立地地域であることを活かし、身近な災害に関する情報を基に危機管理の視点から「備え」としての課題を検討する。また、災害の違いによる特殊性（自然災害、原子力災害など）、災害時要配慮者に対する看護の理解を深める。災害と倫理的課題（限られた医療資源と多くのケア対象者というアンバランスな中でのトリアージなど）について検討し、災害看護活動の実践に向けた基本的な姿勢を考察する。</p> |
| 授業計画 | <p>第1回 ガイダンス 災害看護学概論（高原）（山崎）</p> <p>第2・3回 災害の種類と傷病の特徴（高原）</p> <p>第4・5回 災害サイクルと医療・看護・地域システム（高原）</p> <p>第6・7回 災害急性期における倫理的課題 ①トリアージ（山崎）</p> <p>第8・9回 災害急性期における倫理的課題 ②緊急被ばく医療（山崎）</p> <p>第10・11回 被ばくと看護 看護実践者の語りから学ぶ（ゲストスピーカー）（山崎）</p> <p>第12・13回 災害時要配慮者、避難行動要支援者にとっての災害情報と備え（山崎）</p> <p>第14回 災害看護の教育・研究（高原）（山崎）</p> <p>第15回 まとめ（高原）（山崎）</p> |
| 教材 参考文献等 | 教科書は使用しない。参考文献は必要に応じて提示する。 |

| | |
|---------------|---|
| 成績評価 基準・方法 | プレゼンテーション (60%)、レポート (40%) |
| 履修要件 | なし |
| 関連科目 | なし |
| 留意事項 その他 | 講義内容に即して課題を提示する。対話形式の授業であり、ディスカッションは積極的に参加すること。 |